

「平安をもたらす実!!」

～安心して行きなさい～

マルコ5：24～34

マルコ5章24～34節

24 そこで、イエスは彼と一緒に出かけられた。大ぜいの群衆もイエスに押し迫りながら、ついて行った。

25 さてここに、十二年間も長血をわずらっている女がいた。

26 多くの医者にかかって、さんざん苦しめられ、その持ち物をみな費してしまっただが、なんのかいもないばかりか、かえってますます悪くなる一方であった。

27 この女がイエスのことを聞いて、群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。

28 それは、せめて、み衣にでもさわれば、なおしていただけるだろうと、思っていたからである。

29 すると、血の元がすぐにかわき、女は病気がなおったことを、その身に感じた。

30 イエスはすぐ、自分の内から力が出て行ったことに気づかれて、群衆の中で振り向き、「わたしの着物にさわったのはだれか」と言われた。

31 そこで弟子たちが言った、「ごらんのとおり、群衆があなたに押し迫っていますのに、だれがさわったかと、おっしゃるのですか」。

32 しかし、イエスはさわった者を見つけようとして、見まわしておられた。

33 その女は自分の身に起ったことを知って、恐れおのきながら進み出て、みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げた。

34 イエスはその女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」。

ルカ8章43～48節

43 ここに、十二年間も長血をわずらっていて、医者のために自分の身代をみな使い果してしまっただが、だれにもなおしてもらえなかった女がいた。

44 この女がうしろから近寄ってみ衣のふさにさわったところ、その長血がたちまち止まってしまった。

45 イエスは言われた、「わたしにさわったのは、だれか」。人々はみな自分ではないと言ったので、ペテロが「先生、群衆があなたを取り囲んで、ひしめき合っているのです」と答えた。

46 しかしイエスは言われた、「だれかがわたしにさわった。力がわたしから出て行ったのを感じたのだ」。

47 女は隠しきれないのを知って、震えながら進み出て、みまえにひれ伏し、イエスにさわった訳と、さわるとたちまちなおったこととを、みんなの前で話した。

48 そこでイエスが女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」。

■ 平安をもたらす実。安心して行きなさい。

■ 1人を!! 教えは広く、関わりは1人に

人の目は複数の人と関わろうとしてしまう。しかし、神の目線は1人の人にとことん関わる。

人は合理的に物事を整えていくことが大事だと思っている。神は私達の内側の変化をもたらそうと思っている。医者であるルカはイエス様が長血の女の肉体の癒しをしようとしたのではなく心の回復をしようとしたのを知り聖書に描写をしていない。

イエス様が長血の女にしたようにとことん私達の人生に関わってきます。

この女性のように諦めずに神様の前に出る事が大切です。

主に頼る事で必ず解決があり、癒されます。あなたを探す主のもとに帰ってほしい。神はあなたを見捨てるわけがありません。神はけしてあなたを諦めないという事を覚えておきましょう。

そして救われたあなたを通して、他の人に神様を伝えていきましょう。

■ 心を作り変える神 シャローム

神はあなたの心を作りかえようとしています。神様が十字架の上でしたかった事は平安を残す事でした。長血の女にもそして私達にも平安を与えてくださっている事を忘れないでおきましょう。

(要約者:小根久保 伸彦)

(2018年3月18日)